



恒例の東京研修は中止

議会でもオンライン研修

議会では議員研修会が、今回初めてオンラインで行なわれました。



昨年一昨年も「危機管理的にも全議員が揃って東京研修を続ける必要はないのでは？」講師の側に来て頂いたり、他の場所、日帰りを考えてもいいのでは」と意見を言ってきました。

「対話で進める議会の活性化」という題目でのファシリテーション研修。(講師 早稲田大学マニフェスト研究所 長内紳悟氏)

オンラインでもできる。講師の方に来て頂くことも可能。予算も大変な中、毎年約100万円を使う東京への研修を見直して、弾力的に研修ができるというなど私は思います。乗り物酔いしやすい私は移動のない研修がとても助かります。

この違いなどを学びました。ちやんと意見が出し合える、相手の言うことが理解できるというのはすごく大事です。ただ解決のためには対話から議論、討論へと昇華させていく必要があり、この課程がない対話は単なるなかよしづくりに終わってしまったりする危険もあると私は思っています。今回は政策提言につなげる過程も体験できてよかったです。

今年コロナで研修会も軒並み中止。Zoomオンラインセミナーやビデオの視聴を通して個人的にも勉強させてもらっています。

掛川市は毎年東京へバスを使って一泊二日の研修を続けています。(今年はコロナの影響で中止になりました)

今年も一昨年も「危機管理的にも全議員が揃って東京研修を続ける必要はないのでは？」講師の側に来て頂いたり、他の場所、日帰りを考えてもいいのでは」と意見を言ってきました。

オンラインでもできる。講師の方に来て頂くことも可能。予算も大変な中、毎年約100万円を使う東京への研修を見直して、弾力的に研修ができるというなど私は思います。乗り物酔いしやすい私は移動のない研修がとても助かります。

今年コロナで研修会も軒並み中止。Zoomオンラインセミナーやビデオの視聴を通して個人的にも勉強させてもらっています。

掛川市は毎年東京へバスを使って一泊二日の研修を続けています。(今年はコロナの影響で中止になりました)

今年も一昨年も「危機管理的にも全議員が揃って東京研修を続ける必要はないのでは？」講師の側に来て頂いたり、他の場所、日帰りを考えてもいいのでは」と意見を言ってきました。



しゅうめいぎく

ごく普通だったことが

いつの間にか普通でなくなる怖さ

ナチスが共産主義者を攻撃したとき、私は声をあげなかった。私は共産主義者でなかったから。

ハツと気がついたときには自由も民主主義もなくなつて、独裁国家ができあがっている。そんな歴史を決して繰り返してはならないと思います。

社会民主主義者が牢獄に入られたとき、私は声をあげなかった。社会民主主義者でなかったから。

学術会議の問題を学者の問題だと思っていたら大間違いです。日本の国のあり方が問われています。

労働組合員たちを攻撃したとき、私は声をあげなかった。労働組合員ではなかったから。そして彼らが私を攻撃したとき、私のために声をあげるものは誰一人残っていないかった。

中曽根元総理の国葬でもない内閣と自民党の合同葬に、1億円近い国費をつぎ込み、国立大学や裁判所にまで半旗(弔意)を要請する。

マルティン・ニーメラー (ドイツのキリスト教牧師)

自民党が何でも勝手に決められるという長期政権のおごりを感じます。

福島原発の汚染水を海に流すってそんなバカな!

放射性物質は消えません。薄めても総量が変わるわけではない。危ないからタンクに貯めているわけです。除去装置「アルプス」で処理してもトリチウムの除去はできないため、タンク内の汚染水トリチウム平均濃度は基準の500倍にもなります。

多くの自治体が反対の意見書を出し、漁協も合意していないのに、一方的に海に新たな放射能汚染水を流す決定をしていいはずはありません。

